

2025年12月1日

関係各位

野村ホールディングス株式会社  
コード番号8604  
東証プライム市場・名証プレミア市場

## マッコーリー・グループの米国資産運用会社の全株式取得を完了

野村ホールディングス株式会社(代表執行役社長 グループ CEO:奥田健太郎、以下「当社」)は、本日、Macquarie Group Limited(以下「マッコーリー・グループ」)の米国および欧州のパブリック・アセットマネジメント事業(以下「対象事業」)にかかる全株式の取得(以下「本取得」)を完了しました。取得価額は約 18 億米ドル<sup>※1</sup>(約 2,814 億円<sup>※2</sup>)です。なお、対象事業の運用資産残高(AUM)は約 1,660 億米ドル(2025 年 10 月末時点)となります。

2025 年 4 月 22 日「マッコーリー・グループの米国資産運用会社の全株式取得で合意」で開示した通り、本取得を通じて対象事業の米欧での強固な運用力と販売基盤を取り込むことにより、当社の中核戦略であるインベストメント・マネジメント事業のグローバル展開は大きく進展します。中長期的には、対象事業の統合を通じて AUM の増大とビジネスの多角化およびプライベート領域のさらなる拡大・強化に繋げ、日本および海外のお客様へより多様な投資機会を提供していきます。

本取得の完了に伴い、野村グループの米国におけるインベストメント・マネジメント事業の中核会社である Nomura Capital Management および Nomura Corporate Research and Asset Management と対象事業を統合した組織「ノムラ・アセットマネジメント・インターナショナル」を新設し、ニューヨークおよびフィラデルフィアを主要な拠点とします。統合したビジネスは、今後「Nomura Asset Management」という名称でサービスを展開します。

併せて、当社はマッコーリー・グループと商品販売および投資戦略の共同開発に関する戦略的パートナーシップを締結しました。両社は共同ワーキンググループを設置し、新たなソリューション開発を含めた、お客様への付加価値創造に繋がる更なる機会を追求していきます。

グループ CEO 奥田健太郎は、「本取引の完了は、当社の 2030 年に向けた経営ビジョンへの重要な一步であり、AUM の拡大と当社プラットフォームの多様化・強化を促進するものです」と述べています。

以上

<sup>※1</sup> クロージング日時点の対象事業のAUMや運転資本、負債等の確定値を踏まえて後日調整される可能性があります。

<sup>※2</sup> 1米ドル=156.35円換算。